慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	H. Nicklisch; Handwrterbuch der Bebetriebswirtschaftの再版に就いて
Sub Title	
Author	小高, 泰雄
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1939
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.33, No.5 (1939. 5) ,p.689(139)- 692(142)
JaLC DOI	10.14991/001.19390501-0139
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19390501-0139

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

(1) L. D. de Bernonville-Initiation à lánalyse statistique
(2) 宗藤圭三著「統計學通論」

我國の統計學界は幸ひにして最近異常な進歩を示しつゝある。特殊研究の方面に於ては絶えず貴重な論文が發表され、學界の水準は日を追つて高められてゆく。併し權威ある教科書乃至獨修書の類ひに至つては遺だ寥々たるものである。これは統計學者が所謂專門家であつて、學問の通俗化の如きは興味の範圍に入つて來ないためであらう。とはいへ學問の眞の發達はその普及から可能となるのであるから、專門の諸氏が多少はこの方面への努力も惜しまれざることを希望して歇まぬ。この意味に於て博士が進んで範を示されたことは學界のため慶賀に堪へないのである。

（有斐閣發行、定價二圓五十錢）

H. Nicklisch; Handwörterbuch der Bebetriebswirtschaft の再版に就いて

小高泰雄

ニックリシュ教授が一九二五年、シュマルツ、ゲルドマッハー、クラウス、ロェスレ、シュスター、以下約百三十名の獨逸經濟學者を動員して次の如き意圖のもとに完成せられたのが本字典初版である。即ち、一、經營經濟學の全研究領域を網羅すること、二、經營經濟學者に各自の研究領域の勞作を容易に鳥瞰せしめ、今後の研究を有機的に遂行せしむること、三、經營經濟研究の結果を實際生活に立脚せしむること。

本世期初頭以來、經營經濟學の學問的性質を純化するが爲めに、他面に於いて、實際經營法の研究の爲めに、學者の發表した文献は夥しい數のものであつた。而して、それ等の勞作に一定の體系を與へることは出來得ないとしても、これを集成して、其の內容を整理し、これを相互に關聯せしめ、斯學の發展の段階を闡明して、今後の研究を一層有效に進めたいとする念願は、何人も抱いたところであらう。本初版はかゝる渴望を充たす上に、多大の貢献をなしたことを否定し得ないであらう。增地教授の指摘せられる如く、そは、ケルン學者の編纂しつゝある Grundriss der Betriebswirtschaft-lehre と並んで最近に於ける斯學に關する二大文献の一である。經營學關係辭典

としては、マルペル（Paul J. Marperger）の商業雜誌中に於いて既に着手したるものあり（一七一〇年初版、一七六五年六版、ルドヴィキィ（Ludovici）の商人大學（Eröffene Akademi der Kaufleute oder vollständiges Kaufmanns-lexcon.（初版一七五二—一七五六年、第三版一七九七—一八〇一年）本世紀に於いてはボットの商人辭書（Handwörterbuch des Kaufmanns 1925-27.）ステルン（Stern）簿記辭典（Buchhultungslexikon. 2.B. 1927.）ルクウトル、トームス組織辭典（Organizationslexkon）ブッシュ（Busch）商業辭典（Handels-Lexikon. 1925）等を擧げうるが何れも特殊の研究領域に關係するものであり、且つ其の規模に於いて本經營經濟辭典に比すべきものではない。本辭典は一九二五年に完成せられて以後約十年を閲したる一九三七年、再版が企圖せられ、以來殆ど毎月一回の Lieferung を刊行し、今日迄に既に三十回を重ね、現在 Zins の項に立至つてゐるからして、あと一回を以つて完成するであらうと思はれる。この時に當つて、再版を通じて見たる感想の一端を述べて置きたいと考へる。

扨て前述の如く本書の初版が斯學研究の全分野を網羅してこれを鳥瞰せしめ、今後の研究をして有機的に行はしめんとする意圖に出でたものであるが、かゝる意圖を十分に徹底せしむるが爲めには、社會經濟の發展によつて齎された新なる素材に對する研究を不斷に取り入れるとゝもに、研究者の基本的立場の統一を要求するに至ることは免れ難いところであらう。教授が今回の第二版の刊行を致せる動機は正にこゝにあると考へられる。殊に教授が最近の獨逸に於ける國民協同體理念の滲透によつて、從來の教授の所論に對する信念を愈々高め、經營協同體の觀念を普及撤廢せしむることの緊要なるを本版を通して表明してゐることは特筆すべき點であると考へられる。而して、最近の教授の經營學理論研究の成果は Die Betriebswirtschaft, St. 1932. 及び雜誌 Die Betriebswirtschaft に寄せられたる多數の論文に於いて既に發表せられたるものが今本版 „Betrieb" „Betriebsgemeinschaft" „Gemeinschaft" „Leistung" „Rechnungswesen" „Kapital" „Kartell" „Gut" „Wert" „Wirtschaftlenkung" „Rentabilität" „Bilanz (allgemein)" „Preis" „Ertrag" „Unternehmergewrinn" „Einkommen" の項目の中に收められてゐるのであつて、これを見ると、經營經濟學の理論的研究に於ける基本概念は其の全部が教授の筆になるものである。教授は本版の序文に於いて、「本書の初版は、人間と其の勞働を經濟の中心に立たしめてゐた。このことは經濟が國民の生活の組織としてのみ考へ得られることを意味するものである。第二版はこの關係を徹底的に適應せしむることを意圖してゐる。……個別經濟が繁榮せんとせば、これが當然協同的に行はることを要するのである。このことは、各個別經濟の內部關係に就いて且つ各個別經濟間の關係に就いても妥當するところである。……かゝる協同性の支配的關係は、人間の協同的生活一般の中に表明せられてゐるものと同一のものであつて決して特殊のものではない。國民の生活上繁榮を齎すところのものと同一のものである。この事實を無視するものは平和攪亂者である。本書はあらゆる科學者にして其の科學的研究の完成する以前に於いて、この事實を彼の世界觀より、從つて彼の研究すべき及びこれに齎さるゝ經濟事實より排除する學者を拒否するものである。……本書は經營の辭典であり、この名辭は國民經濟學の領域に於ける同樣の著作と何等對立するものではない。即ち編纂者及び其の協同者は經營の學と國民經濟の學が一層大なる經濟科學の構成要素たることを知るものである。而して、この構成自體は不可缺のものであつて、……經濟的人間に對するこの兩學の作用は、意識に對する兩眼に外ならぬ。」社會に於ける經濟活動の本體はこの兩部門の研究を初めて可能となるべきである。等しい經驗對象に就いて認識對象を異にすることによつて兩學間の限界を明瞭ならしめようとした教授の主張は餘りにも周知のところではあるが今や彼はこの主張を再刊を通して强調してゐるのである。而して、本辭典が普通の辭典と異り、前述の如き一貫した彼の主張に

立脚してゐる、謂はゞ觀念的に統一せられたる專門の論文の集成である。少くとも斯く期待せられてゐるところである。而して、これを形式上ＡＢＣの順序に從つて掲載することはこの觀念的統一を學問的統一と關聯を持たしめる上に不便なるは謂ふ迄もない。それ故本再版に於いては、一論文の上に先づこれと關聯を有する他項の論文の標題を精密に記述して、これを併讀することによつて、觀念的連絡を十分に存たしむべく用意せられてゐる。

再版に就いて感ずる第二の點は、最近に於ける獨逸の國民社會主義の基礎の確定するとゝも漸く精密を加へ來つた諸般の法制上の組織上の變革に伴ふ新なる研究對象を十分に取り入れて論評してゐることである。ニックリッシュ教授の論文中には特に前掲の「經濟指導」「體同體」「カルテル」特に精細なる現行制度の紹介せられ、論評せられてゐるのを見るが、其の他の諸論文には、多少ともこの點を顧慮して、理論の現實性を附與することが意圖せられてゐる。

教授の所論に就いての批評は他日に讓るとして、既に還曆を過ぎた教授が孜々として倦むところなくこの尨大なる事業を完成せられ、遠く異邦の學界に迄多大の貢献を致されたる事實に對し、心から敬意を表したいと考へるものである。

（一九三九・五・七）

前號（第三十三卷第四號）目次

◉景氣變動論の端初的形態　武村　忠雄

◉我が國戰時金融の現段階と若干の問題　金原賢之助

◉大英ブロック經濟に於ける工業原料の自給性　山本　登

◉經濟名著解題　高橋誠一郎
——ウイリアム・スタンリイ・ジェヴォンズ著『石炭問題』——

◉L. E. Hubbard; Soviet Trade & Distribution. 1938.　岩田　仞

●一冊定價　金五拾錢　郵稅金壹錢五厘
●半ケ年分　金貳圓九拾錢
●一ケ年分　金五圓四拾錢　郵稅共

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限

昭和十四年四月廿五日印刷納本
昭和十四年五月一日發行

毎月一回一日發行

三田學會雜誌

禁轉載

第三十三卷　第五號

編輯兼發行者　東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾内　江田範保

印刷者　東京市赤坂區新町五丁目四十二番地　金子鐵五郎

印刷所　東京市赤坂區新町五丁目四十二番地　金子活版所

發賣元　東京市芝區三田二丁目一番地　丸善株式會社三田出張所　電話三田(45)一一九二六番　一一九二七番　振替口座東京一一八五二番

●尚ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所　東京芝三田慶應義塾内　理財學會　振替口座　慶應義塾　芝區三田二ノ二　東京一八二〇四番